

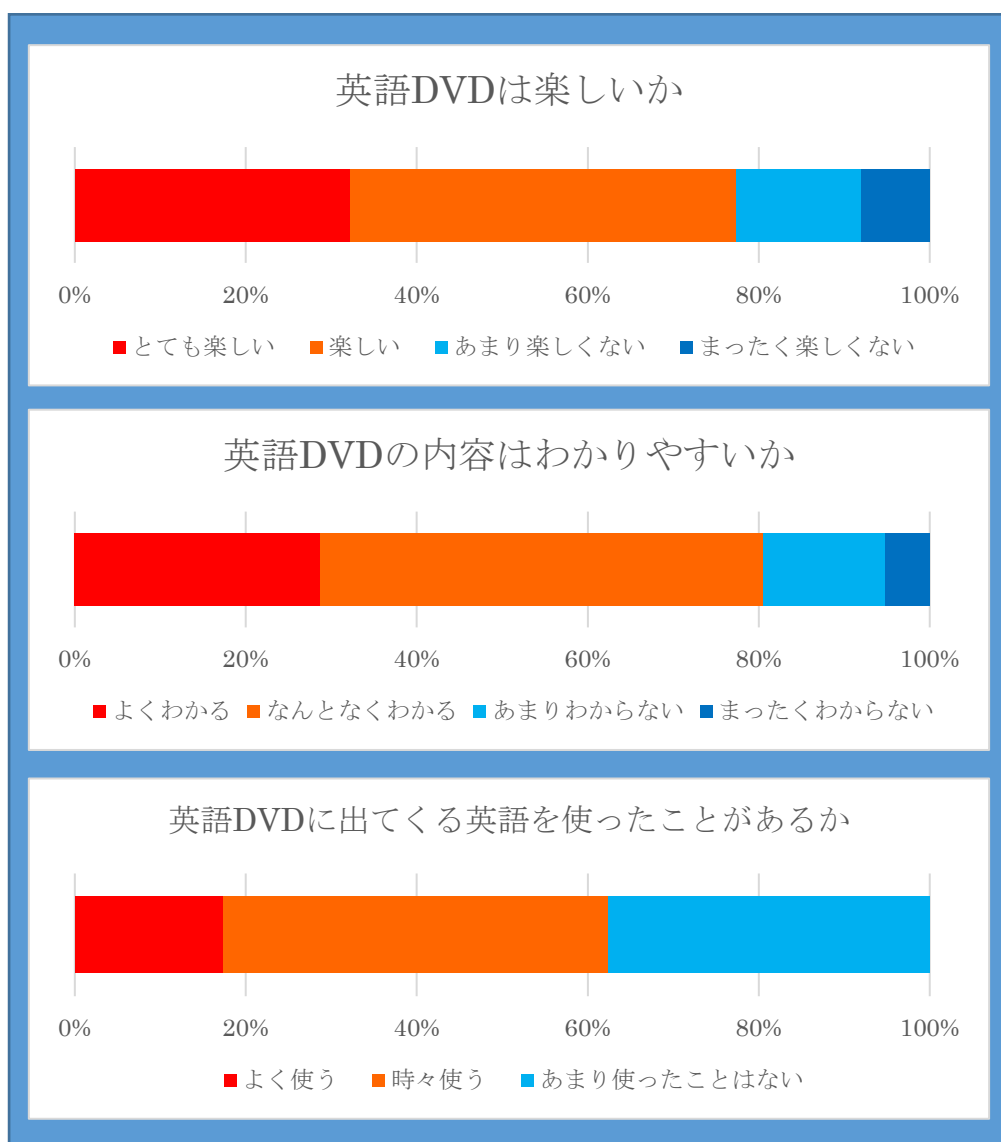
令和3年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和3年度1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、英語DVDが「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は、約8割になっています。また、DVDの内容についても、「よくわかる」、「なんとなくわかる」と回答した児童も8割に到達していることから、DVDの内容が児童にとってわかりやすいものであり、そのことが英語のDVD視聴に対する好回答につながっていると考えられます。

ただ、英語DVDに出てくるフレーズなどがアウトプットできていると答える児童は約6割という結果となっています。DVDの中では、コンテンツ中の人物とともに歌ったり、ショートセンテンスを発したりするように活動の場面も盛り込まれていますが、それだけではやや不十分だという結果となっています。(資料1)

そこでDVD視聴後、出てきたフレーズを担当が実際にどんなときにどんな場面で使うか、児童に伝える必要があると考え、実践していきたいと考えています。



【資料1】児童のアンケート結果

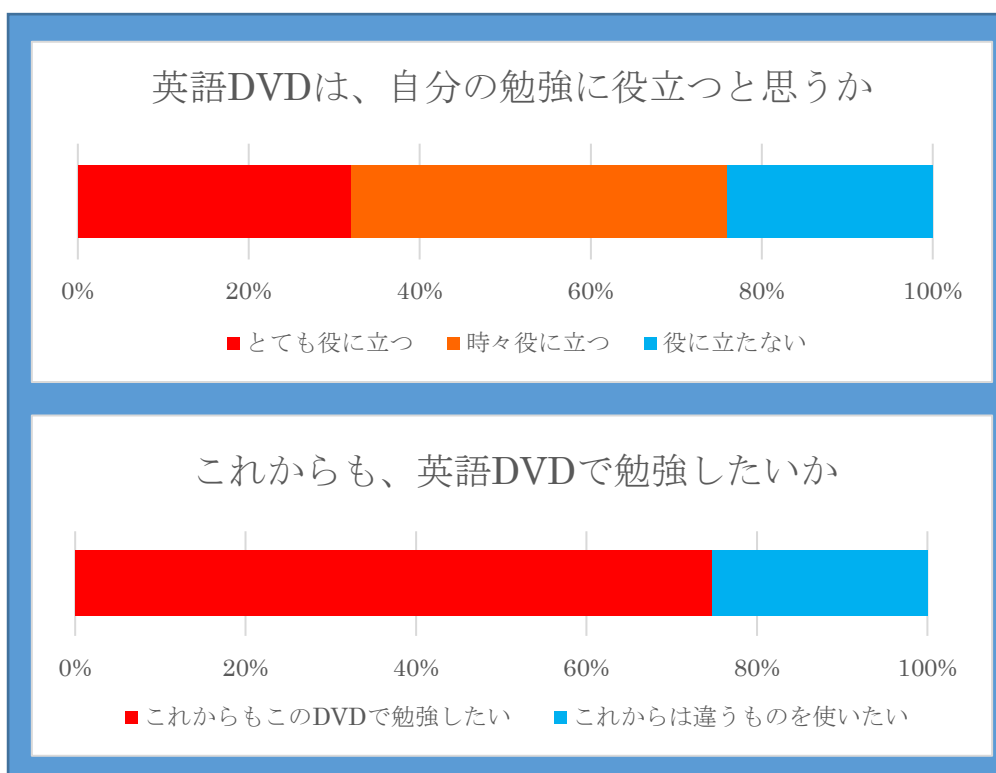
2 学校関係者評価結果

保護者の方への聴き取りからは、以下のようなことが明らかになりました。（一部抜粋）

- ・英語DVDによって、英語に親しむことができると思う保護者は多い。
- ・本校でこのような英語DVDを使った英語活動が行われていることは、およそ認知されている。
- ・英語DVDについて、児童は家庭であまり話題としていない。
- ・英語教育がこれから生きていく上で非常に大切であると考えており、低学年から英語と触れ合える時間があってよいと考えている。

3 まとめ

英語DVDが自分の勉強の役に立つかという問いに対しては、8割近くの児童がその有効性を認めています。これからもDVDを使って学習したいと考える児童は、全体として75%を超える児童が、この教材を使って学習したいと考えています。（資料2）



【資料2】児童のアンケート結果

また、本校では、1年生からALTやSTによる外国語活動に取り組んで授業としての時間を学期に数時間設けています。低学年もALTに積極的に英語であいさつしたり話しかけたりする様子を見ることができます。これも毎日の積み重ねによって、自然と英語が話せる子供が育っている証だと思われまます。